別記様式第３号（第４条関係）

記載例

実　務　経　験　証　明　書

下記の者は、解体工事に関し、下記の通り実務経験を有することに相違ないことを証明します。

実際に雇用されていた期間を記載してください。

令和〇〇　年 〇〇 月 〇〇 日
青森市長島〇丁目〇番〇号
株式会社　あおもり解体
証明者　代表取締役　青森　太郎

申請書裏面の技術管理者名を記載してください。

技術管理者の氏名	東青　一郎	生年月日	昭和４３年４月２日	使用された期間	平成８ 年 4 月 から 令和３ 年 3 月 まで
使用者の商号又は名称	株式会社　あおもり解体				
職　名	実　務　経　験　の　内　容				実務経験年数
工事主任	「相川邸解体工事」木造建築物の解体	外　７件			H 22 年 4 月 から H 23 年 3 月 まで 11月
〃	「有限会社伊藤工業所解体工事」木造建築物の解体	外１２件			H 23 年 4 月 から H 24 年 3 月 まで 11月
〃	「宇垣工場解体工事」鉄筋構造物の解体	外１０件			H 24 年 4 月 から H 25 年 3 月 まで 11月
工事班長	「江藤タワー解体工事」鉄骨構造物の解体	外　８件			H 25 年 4 月 から H 26 年 3 月 まで 11月
〃	「小笠原タワー解体工事」ＳＲＣ構造物の解体	外　６件			H 26 年 4 月 から H 27 年 3 月 まで 11月
〃	「加藤邸解体工事」木造建築物の解体	外１８件			H 27 年 4 月 から H 28 年 3 月 まで 11月
土木解体課長	「木村ビル解体工事」ＳＲＣ構造物の解体	外１０件			H 28 年 4 月 から H 29 年 3 月 まで 11月
〃	「栗山工場解体工事」木造建築物の解体	外１３件			H 29 年 4 月 から H 30 年 3 月 まで 11月
〃	「小山邸解体工事」木造建築物の解体	外　５件			H 30 年 4 月 から H 31 年 3 月 まで 11月
					年 月 から 年 月 まで
					年 月 から 年 月 まで
使用者の証明を得ることができない場合	その理由				合計　満 8 年 3 月
					証明者と被証明者との関係：社員

解体工事に関する実務経験について記載してください。工事が切れ目なく続く場合には、他〇件と記載して、１年を１行にまとめて記載してください。

記載要領

1　この証明書は、被証明者１人について、証明者別に作成すること。

2　「実務経験の内容」の欄には、従事した主な工事名、解体した建築物等の構[illegible]

本人が証明する場合には、その理由を記載してください。
※別途書類を提出していただく場合がありますので、事前にご相談ください。
（例）：平成〇〇年〇月〇日法人解散のため
　　自営業のため（更新申請の場合に限る）

実務経験として記載された各期間の合計年数を記載してください。
これが必要とされる実務経験年数を満たしている必要があります。
原則として、1行ごとに片落としして（1か月分除いて）計算します。
ただし、契約書等により、月の初めから月末まで行っていたことが確認できる分については、片落としはしません。